



## 初期設定タスク

---

- [「バックアップパラメータの設定」 \(P.9\)](#)
- [「NTP サーバの設定」 \(P.11\)](#)
- [「時間帯の設定」 \(P.15\)](#)

## バックアップパラメータの設定

- [「バックアップパラメータとは」 \(P.9\)](#)
- [「前提条件」 \(P.9\)](#)
- [「手順の概要」 \(P.10\)](#)
- [「手順の詳細」 \(P.10\)](#)
- [「例」 \(P.11\)](#)

## バックアップパラメータとは

Cisco Unified SIP Proxy のバックアップ機能および復元機能は、FTP サーバを使用してデータの保存および取得を行います。バックアップ機能によって、ファイルは Cisco Unified SIP Proxy から FTP サーバにコピーされます。復元機能によって、ファイルは FTP サーバから Cisco Unified SIP Proxy にコピーされます。FTP サーバは、バックアップ機能および復元機能が IP アドレスまたはホスト名を使用して FTP サーバにアクセスできる限り、ネットワークの任意の場所に配置できます。

すべての Cisco Unified SIP Proxy バックアップ ファイルは、指定したサーバに保存されます。バックアップ ファイルは、必要に応じて他の場所またはサーバにコピーできます。

バックアップパラメータは、Cisco Unified SIP Proxy バックアップ ファイルの保存に使用する FTP サーバ、および最も古いファイルが上書きされるまでに保存されるバックアップの数を指定します。

## 前提条件

- FTP 管理者または FTP サーバにログインできる他のユーザが、ファイルおよびディレクトリに対する読み取り、書き込み、上書き、作成、および削除の権限など FTP サーバに関するフル権限を持っていることを確認します。
- FTP サーバの URL、FTP サーバログインのユーザ名およびパスワードを用意します。
- 最も古いバックアップが上書きされるまで保存されるリビジョンの番号を決めます。

## 手順の概要

1. `configure terminal`
2. `backup server url backup-ftp-url username backup-ftp-usrname password backup-ftp-password`
3. `backup revisions number number`
4. `end`
5. `show backup`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<pre>configure terminal</pre> <pre>se-10-0-0-0# config terminal</pre>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	<pre>backup server url ftp-url username ftp-username password ftp-password}</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(config)&gt; backup server url ftp://main/backups username "admin" password "wxyz"</pre> <pre>se-10-0-0-0(config)&gt; backup server url ftp://192.0.2.15/backups username "admin" password "wxyz"</pre>	バックアップ パラメータを設定します。 <b>(注)</b> バックアップ サーバを設定しなければ、バックアップ リビジョンを設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>server url</b> : <i>ftp-url</i> 値は、バックアップ ファイルの保存先である、ネットワーク FTP サーバの URL です。</li> <li>• <i>ftp-username</i> 値は、ネットワーク FTP サーバのユーザ名です。<i>ftp-password</i> 値は、ネットワーク FTP サーバのパスワードです。</li> </ul> この例では、 <b>main</b> は FTP サーバのホスト名で、 <b>backups</b> はバックアップ ファイルの保存先ディレクトリです。
ステップ3	<pre>backup revisions number</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(config)&gt; backup revisions 5</pre>	保存されるバックアップ ファイルの数を設定します。このバックアップの数に達すると、システムは、保存されている最も古いファイルを削除します。
ステップ4	<pre>end</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(config)&gt; end</pre>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ5	<pre>show backup</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0&gt; show backup</pre>	FTP サーバの URL、利用可能なバックアップ ファイルの最大数などバックアップ サーバの設定情報を表示します。

## 例

次の例では、バックアップサーバを設定し、**show backup** の出力を表示する方法を示します。

```
se-10-0-0-0> enable
se-10-0-0-0# configure terminal
se-10-0-0-0 (config)> backup revisions 5
se-10-0-0-0 (config)> backup server url ftp://10.12.0.1/ftp username "admin" password
"wxzyz"
se-10-0-0-0 (config)> end
se-10-0-0-0> show backup
Server URL:                               ftp://10.12.0.1/ftp
User Account on Server:
Number of Backups to Retain:              5
se-10-0-0-0>
```

### 関連項目

- CLI コマンドについては、『[CLI Command Reference for Cisco Unified SIP Proxy Release 8.5](#)』を参照してください。
- 設定のバックアップおよび復元については、『[データのバックアップおよび復元](#)』を参照してください。

## NTP サーバの設定

Cisco Unified SIP Proxy ソフトウェアのインストール時には、最大 2 つの Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) サーバを追加することもできます。追加の NTP サーバ (システムは、最大 3 つの NTP サーバをサポート) を追加し、1 つ以上の NTP サーバを削除するか、CLI を使用して NTP サーバ情報を表示できます。

- [「NTP サーバの追加」 \(P.11\)](#)
- [「NTP サーバの削除」 \(P.13\)](#)
- [「NTP サーバ情報の表示」 \(P.14\)](#)

## NTP サーバの追加

- [「NTP サーバの追加とは」 \(P.11\)](#)
- [「手順の概要」 \(P.12\)](#)
- [「手順の詳細」 \(P.12\)](#)
- [「NTP サーバの追加例」 \(P.13\)](#)

## NTP サーバの追加とは

NTP サーバは、このサーバの IP アドレスまたはホスト名を使用して指定できます。

Cisco Unified SIP Proxy は、DNS サーバを使用してホスト名を IP アドレスに解決し、NTP サーバとして IP アドレスを保存します。DNS がホスト名を複数の IP アドレスに解決した場合、Cisco Unified SIP Proxy は NTP サーバとしてまだ指定されていない IP アドレスの 1 つをランダムに選択します。ランダムに選択しない場合は、1 つのサーバに対して **prefer** 属性を設定します。

1 つのホスト名に対して複数の IP アドレスを持つ NTP サーバを設定するには、同じホスト名を使用して設定手順を繰り返します。手順を繰り返すごとに、NTP サーバが残りの IP アドレスに割り当てられます。

## 手順の概要

1. **configure terminal**
2. **ntp server {hostname | ip-address} [ prefer ]**
3. **end**
4. **show ntp status**
5. **show ntp configuration**
6. **copy running-config startup-config**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b>  例： se-10-0-0-0# <b>config terminal</b>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>ntp server {hostname   ip-address} [ prefer ]</b>  例： se-10-0-0-0(config)> <b>ntp server 192.0.2.14</b> se-10-0-0-0(config)> <b>ntp server 192.0.2.17 prefer</b>	NTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。  複数のサーバが設定されている場合、 <b>prefer</b> 属性を持つサーバが他のサーバよりも先に使用されます。
ステップ 3	<b>end</b>  例： se-10-0-0-0(config)> <b>exit</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	<b>show ntp status</b>  例： se-10-0-0-0> <b>show ntp status</b>	NTP サーバに関する統計情報を表示します。
ステップ 5	<b>show ntp configuration</b>  例： se-10-0-0-0> <b>show ntp configuration</b>	設定された NTP サーバを表示します。
ステップ 6	<b>copy running-config startup-config</b>  例： se-10-0-0-0> <b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

## NTP サーバの追加例

次のコマンドで、NTP サーバが設定されます。

```
se-10-0-0-0# configure terminal
se-10-0-0-0(config)# ntp server 192.0.2.14
se-10-0-0-0(config)# exit
se-10-0-0-0>
```

**show ntp status** コマンドの出力は、次のように表示されます。

```
se-10-0-0-0> show ntp status

NTP reference server 1:      192.0.2.14
Status:                     sys.peer
Time difference (secs):     3.268110099434328E8
Time jitter (secs):        0.1719226837158203
```

## NTP サーバの削除

NTP サーバは、このサーバの IP アドレスまたはホスト名を使用して削除できます。

- [「手順の概要」 \(P.13\)](#)
- [「手順の詳細」 \(P.13\)](#)

### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. **no ntp server {hostname | ip-address}**
3. **exit**
4. **show ntp status**
5. **show ntp configuration**
6. **copy running-config startup-config**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>configure terminal</b>  例: se-10-0-0-0# <b>configure terminal</b>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	<b>no ntp server {hostname   ip-address}</b>  例: se-10-0-0-0(config)# <b>no ntp server 192.0.2.14</b> se-10-0-0-0(config)# <b>no ntp server myhost</b>	削除する NTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<code>exit</code>  例： se-10-0-0-0(config)> <code>exit</code>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	<code>show ntp status</code>  例： se-10-0-0-0> <code>show ntp status</code>	NTP サーバに関する統計情報を表示します。
ステップ 5	<code>show ntp configuration</code>  例： se-10-0-0-0> <code>show ntp status</code>	設定された NTP サーバを表示します。
ステップ 6	<code>copy running-config startup-config</code>  例： se-10-0-0-0> <code>copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

## NTP サーバ情報の表示

- 「[NTP サーバ情報を表示するコマンド](#)」 (P.14)
- 「[NTP サーバ情報の表示例](#)」 (P.14)

## NTP サーバ情報を表示するコマンド

次のコマンドを使用することで、NTP サーバの設定情報およびステータスを表示できます。

- `show ntp associations`
- `show ntp servers`
- `show ntp source`
- `show ntp status`

## NTP サーバ情報の表示例

次の例は、`show ntp associations` コマンドの出力例です。

```
se-10-0-0-0> show ntp associations

ind assID status  conf reach auth condition  last_event cnt
=====
  1 61253  8000   yes  yes  none    reject
```

次の例は、`show ntp servers` コマンドの出力例です。

```
se-10-0-0-0> show ntp servers

remote          refid          st t when poll reach  delay  offset  jitter
=====
 1.100.6.9      0.0.0.0       16 u   - 1024   0    0.000   0.000 4000.00
space reject,   x falsetick,  . excess,    - outlier
```

```
+ candidate,          # selected,          * sys.peer,          o pps.peer
```

次の例は、**show ntp source** コマンドの出力例です。

```
se-10-0-0-0> show ntp source
```

```
127.0.0.1: stratum 16, offset 0.000013, synch distance 8.67201
0.0.0.0:          *Not Synchronized*
```

次の例は、**show ntp status** コマンドの出力例です。

```
se-10-0-0-0> show ntp status
```

```
NTP reference server :          10.100.6.9
Status:                    reject
Time difference (secs):        0.0
Time jitter (secs):           4.0
```

### 関連項目

- CLI コマンドについては、『[CLI Command Reference for Cisco Unified SIP Proxy Release 8.5](#)』を参照してください。
- Cisco Unified SIP Proxy システムの初期インストールおよびインストール後の設定ツールについては、『[Installation Guide for Cisco Unified SIP Proxy Release 8.5](#)』を参照してください。
- コピーおよび設定については、「[設定のコピー](#)」(P.41) を参照してください。

## 時間帯の設定

Cisco Unified SIP Proxy ソフトウェアのインストール時には、時間帯の設定を求めるプロンプトが表示されます。時間帯の変更が必要な場合は、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **clock timezone** コマンドを使用します。

時間帯を表示するには、モジュール EXEC モードで **show clock detail** コマンドを使用します。

### 時間帯の設定例

```
se-10-0-0-0# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# clock timezone
Please identify a location so that time zone rules can be set correctly.
Please select a continent or ocean.
1) Africa                4) Arctic Ocean        7) Australia            10) Pacific Ocean
2) Americas              5) Asia                8) Europe
3) Antarctica           6) Atlantic Ocean     9) Indian Ocean
>? 2
Please select a country.
1) Anguilla              18) Ecuador            35) Paraguay
2) Antigua & Barbuda    19) El Salvador       36) Peru
3) Argentina            20) French Guiana     37) Puerto Rico
4) Aruba                 21) Greenland         38) St Kitts & Nevis
5) Bahamas              22) Grenada           39) St Lucia
6) Barbados             23) Guadeloupe        40) St Pierre & Miquelon
7) Belize               24) Guatemala         41) St Vincent
8) Bolivia              25) Guyana             42) Suriname
9) Brazil               26) Haiti             43) Trinidad & Tobago
10) Canada              27) Honduras          44) Turks & Caicos Is
11) Cayman Islands      28) Jamaica           45) United States
```

- |                        |                          |                         |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 12) Chile              | 29) Martinique           | 46) Uruguay             |
| 13) Colombia           | 30) Mexico               | 47) Venezuela           |
| 14) Costa Rica         | 31) Montserrat           | 48) Virgin Islands (UK) |
| 15) Cuba               | 32) Netherlands Antilles | 49) Virgin Islands (US) |
| 16) Dominica           | 33) Nicaragua            |                         |
| 17) Dominican Republic | 34) Panama               |                         |

>? **45**

Please select one of the following time zone regions.

- 1) Eastern Time
- 2) Eastern Time - Michigan - most locations
- 3) Eastern Time - Kentucky - Louisville area
- 4) Eastern Time - Kentucky - Wayne County
- 5) Eastern Standard Time - Indiana - most locations
- 6) Eastern Standard Time - Indiana - Crawford County
- 7) Eastern Standard Time - Indiana - Starke County
- 8) Eastern Standard Time - Indiana - Switzerland County
- 9) Central Time
- 10) Central Time - Michigan - Wisconsin border
- 11) Central Time - North Dakota - Oliver County
- 12) Mountain Time
- 13) Mountain Time - south Idaho & east Oregon
- 14) Mountain Time - Navajo
- 15) Mountain Standard Time - Arizona
- 16) Pacific Time
- 17) Alaska Time
- 18) Alaska Time - Alaska panhandle
- 19) Alaska Time - Alaska panhandle neck
- 20) Alaska Time - west Alaska
- 21) Aleutian Islands
- 22) Hawaii

>? **16**

The following information has been given:

```

United States
Pacific Time

```

```

Therefore TZ='America/Los_Angeles' will be used.
Local time is now:      Mon Aug 27 17:23:54 PDT 2007.
Universal Time is now:  Tue Aug 28 00:23:54 UTC 2007.
Is the above information OK?

```

- 1) Yes
- 2) No

>? **1**

Save the change to startup configuration and reload the module for the new time zone to take effect.

```
se-10-0-0-0(config)>
```